

日本地図学会「ICC2019 基金・ICA 関連国際集会派遣事業」

2024 年度 募集要項

日本地図学会では、「ICC2019 実行委員会」から寄贈された資金を原資に設置された「ICC2019 基金」をもとに、日本の地図学の国際化と国際地図学協会（ICA）の活動の発展に資する活動を支援するために、日本地図学会会員及び学生会員を対象とした ICA の国際集会への派遣旅費の資金助成を行う「ICC2019 基金・ICA 関連国際集会派遣事業」を実施しています。2023 年度分を下記の通り募集します。ICA 関連の国際集会で発表を目指す日本地図学会の正会員、学生会員の方の多数の応募をお待ちしています。

1. 派遣支援の対象と応募資格

(1) 派遣支援期間：

2024（令和 6）年 5 月 1 日から 2025（令和 7）年 3 月 31 日まで

(2) 応募資格者：

日本地図学会の正会員又は学生会員で、満 40 歳未満（申請時直後の 4 月 1 日現在）の者。

(3) 派遣支援対象

国際地図学協会（ICA）の活動として開催される国際会議（集会）で研究発表を行う際の渡航旅費など

なお、2024 年度の ICA 関連国際集会は「The First Asian Cartographic Conference Asia Carto 2024」に限定する。

<https://asiacarto.org/2024/>

(4) 支援助成金額

- ・ 申請可能な 1 件当たりの派遣支援額は、最大で 30 万円を上限とします。ただし、支援件数、年間予算などを考慮して、派遣支援金額は申請額より減額することがあります。日本地図学会常任委員会で審議し、派遣支援額の内定額を示しますので、

ご了解ください。

- ・ 申請者一人につき1年度につき1件しか支援できません。また、他の科研費等の他の支援助成金あるいは研究補助金等による渡航旅費等の申請と、同時に本派遣事業に申請することは可能ですが、他の事業において渡航旅費等の実行が可能になった場合は、本派遣助成の申請は無効とします。
- ・ 本派遣支援事業以外の他の研究助成や事業助成金と、明確に分離された旅程での申請しか対象としていません。受理できません。同一旅程で、科研費などと一体的な運用は認められません。
- ・ 派遣支援の範囲は、航空料金、その他交通費、宿泊費、参加登録費などです。海外渡航に必要な機器や図書などの直接経費は、派遣助成に含みません。また、航空券やホテルのランクに関しては、科研費等の他の国際出張で決められている常識的な範囲（例：エコノミークラス、通常ルームなど）とします。

2. 採択の決定及び内定後の手続きなど

(1) 審査

申請書（様式1）は【2024年4月8日（月）17時まで】に、日本地図学会事務局までメールまたは郵送で提出してください。その際、重複申請等に関する申立書（様式2）も必ず同時に提出してください。

申請について、常任委員会で本派遣支援事業に合致しているかなどを協議し、派遣支援の諾否を決定します。

(2) 採択内定後

- ・ 採択内定者は、日本地図学会事務局から連絡をします。ただし、派遣支援金額は申請額より減額することがあります。日本地図学会常任委員会で審議し、派遣支援額の内定額を示しますので、ご了解ください。派遣支援の内定額を了解の場合は、支援助成金を仮払いします。
- ・ 内定額に了解できない場合は、採択を辞退したものとします。採択辞退が発生した場合や、派遣申請者がいなかった場合等は、次点者の繰り上げ採択や、追加募集などを行う予定です。

(3) ICC 関連の国際集会への渡航と帰国後

- ・ 国際集会から帰国後、渡航に使った経費は、帰国報告書（様式自由）として整理し、日本地図学会に報告してください。実施報告書を確認する際に、支出内容を確認することもありますので、支出内容が確認可能な領収書などは大切に保管してください（1年は保管をお願いします）。
- ・ 帰国報告書は、研究発表の実施概要、派遣支援金の費目別の支出状況などを明記してください。帰国から1か月以内に提出してください、使わなかった渡航費用等は、速やかに日本地図学会に返金をお願いします。
- ・ 国際集会での発表成果は、『地図』への報告、定期大会での口頭発表等、可能な範囲で広く周知することをお願いします。

3. その他

- 添付の「日本地図学会「ICC2019 基金」・ICA 関連国際集会派遣申請書（様式1）」と「ICA 関連国際集会派遣・重複申請等に関する申立書（様式2）」に必要事項を記載し、日本地図学会事務局までメール添付又は郵送で提出してください。メール添付の場合は、PDF ファイルに変換してください。
- その他、不明の点は日本地図学会事務局にお問い合わせください。ただし、担当委員等に転送しますので、回答に時間を要する場合があります。問い合わせは余裕をもってご質問のメールをお願いします。

（参考）今後のスケジュールのイメージ

- 派遣支援の申請書の提出（～4月8日（月）17時必着）
- 申請書の審査（4月末までに審査結果を連絡）、内定額を了解すれば派遣支援金を仮払い
- 研究発表からの帰国後、帰国報告書を提出（帰国から1か月以内）、未使用金は返金

（連絡先）

〒153-8522 東京都目黒区青葉台 4-9-6 日本地図センタービル 2 階
日本地図学会事務局 電話・FAX：03-3485-5410
E-mail：info@jcacj.org

(様式 1)

(西暦) 年 月 日

日本地図学会「ICC2019 基金・ICA 関連国際集会派遣事業」申請書

申請者氏名	(ふりがな)
生年月日	西暦 年 月 日生 歳 (当該年度の 4 月 1 日現在の年齢)
所 属	(所属が大学の場合、大学名・学部名・学科名・職階などを、大学院生の場合、大学名・研究科名・課程名・専攻名・学年などを書いてください。学振特別研究員の場合は、その旨明記してください。)
連絡先	【自 宅】 住所：〒 電話： 【勤務先】 住所：〒 電話： 電子メール：
研究発表題目	原題： (和訳)
研究発表要旨 (英文で 300 語 以内)	
研究集会の名称 (詳細に記述)	
申請者の学 歴・職歴	(大学卒業時から現在に至るまで記入してください。)
申請者の研究 業績	(査読付き論文など主要な業績を記入してください。)
助成金の使途 内訳	(航空料金、その他の交通費、宿泊費、参加登録料、その他の費目別にできるだけ詳細に記入してください。)

ICA 関連国際集会派遣・重複申請等に関する申立書

本申請とは別に、他の国際会議等への派遣助成に重複申請する方、または本発表の研究に関して科学研究費を含む他の研究助成等の交付を受けている（または交付が内定されている）方、または過去に本派遣事業の助成を受けたことのある方が、本助成に申請する場合には、本申立書を提出してください。重複申請等がない場合は、必ず「なし」の旨を申立してください。

申請者氏名：_____

他の国際会議等への派遣助成に重複申請している方	
他の派遣助成の内容 (ない場合は「なし」と書いてください)	(名称・期間・助成額・審査結果の判明時期などを詳細に記入してください。)
本助成にも申請する理由	

本発表の研究に関して、科学研究費を含む他の研究助成等の交付を受けている方 または交付が内定されている方	
他の研究助成等の内容 (ない場合は「なし」と書いてください)	(名称・期間・助成額などを詳細に記入してください。)
本助成にも申請する理由	(詳細に記入してください。)

過去に本派遣事業の助成を受けた方	
本派遣事業の助成を受けた年度、金額 (ない場合は「なし」と書いてください)	年度（西暦）： 年 助成額： 円